



平成28年度伝建関連事業 土壁体験講座

平成26年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された村田町で壁土づくりの講座が開催されています。4月と6月は建築技術者対象講座、6月と7月は町民対象講座です

ご存知の通り、壁土は数か月前から準備が必要です。大野横浜国大教授を講師として、横浜国大の学生さん、町役場の方々、建築士、伝建地区の修理工に携わる職人さんが集まり、4月23日24日の両日ともに10:00~15:00頃まで行ないましたので23日の様子を報告します



作業エリアを決めます



稲藁を切るエリアです



約6cmの長さに切ります



稲藁を切るエリアです

道具の使い勝手の変化
左：手前に切ります
右：押切り

現在の道具は、手前に切るタイプ



土を練る場所をつくります



枠を立てます



練混ぜの為に内枠を設置します



2tトラック2台分の土



水をかなりかけます



藁ス約7kgです



土を描車で運びます



藁ス入られる為に広げます



藁スを入れれます



水を入れます



混ぜます。足でも練ります



練った土を水はりしねかします



今回の建築技術者対象講座は、6月4日(土)・5日(日)ともに10時~15時
集合場所：村田商人やまじょう記念館 作業に適した服装・サンダル・長靴ご持参下さい
次回も、藁スづくりと練混ぜ、水はりねかしの作業を繰返して荒壁土を作っていきます



平成28年度伝建関連事業 土壁体験講座

平成26年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された村田町で壁土づくりの講座が開催されました。

4月23日から始まった講座には、大野横浜国大教授を講師として、横浜国大の学生さん、町役場の方々、建築士、伝建地区の修理工に携わる職人さんが集まり、7月31日の土壁塗り体験まで延べ8日間、建築士会からは延べ10名が参加しました。
6月26日の町民イベントの様子を報告します

